



# 中原だより

令和7年度 第3号  
西東京市立中原小学校  
校長 佐々木 敏幸  
令和7年 5月30日



## 「運動会」と「紫陽花」

副校長

24日土曜日の運動会では、多くの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの晴れやかな姿に温かなご声援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。今年の運動会は、天候の心配がありましたが、無事に雨も降らず、練習の成果を存分に発揮することができた一日となりました。

ゴールを目指して一生懸命に走る姿、仲間と息を合わせて力を尽くす姿、結果に涙する姿、そしてその友を支える姿——そのどれもが胸を打ち、子どもたち一人一人の内面の成長を感じさせてくれました。運動会は単なる競技の場ではなく、「努力することの意味」や「仲間と力を合わせることの喜び」、そして「全力を尽くすことの尊さ」を実感する場であることを、改めて感じさせられました。

そんな子どもたちの姿と重なるように、学校近くの公園では紫陽花が静かに咲き始めています。雨に濡れながらも、しなやかに、そして凜として咲く紫陽花は、環境によってその色を変える不思議な花です。どんな色に咲いても、それぞれが美しく、それぞれが唯一の輝きを放っています。子どもたちもまた、それぞれ異なる個性や歩みを持ちながら、自分なりの色で咲こうとしています。

運動会という大きな行事を経て、子どもたちは確かに一步成長しました。成功した子も、思うような結果が出せなかった子も、そこに至るまでの過程こそがとても大切だと考えます。そしてこれから迎える梅

雨の季節、紫陽花のように、静かに、じっくりと内面を育てる時間が始まります。学校では、子どもたちの「次の一步」を支える日々が続いていきます。

保護者の皆様には、日頃より変わらぬご理解とご支援を賜り、改めて感謝申し上げます。今後とも、子どもたちの成長を共に喜び合いながら、手を取り合って歩んでまいりたいと存じます。





## 1 校内研究について

本校は昨年度、研究主題を「主体的・対話的で深い学びの実現～基礎・基本の定着を図る指導の工夫を通して～」と掲げ、研究を進めてきました。体育科では、運動量を確保しながら、児童がすすんで楽しく運動ができるような指導の工夫、算数科では、自分の考えをもち、それを他者と伝え合いながら考えを深められるような指導の工夫を考えて研究を行いました。今年度は、研究教科を体育科にしぼり、「わかった!できた!が実感できる体育授業の工夫」を研究主題とし、児童が体を動かす喜びや楽しさを感じられるような体育科の授業の工夫を研究していきます。また、コーディネーショントレーニングを取り入れ、児童の体力・運動力が向上するように取り組んでいきます。ご家庭でも体育科で取り組んだことを生活の中で話題にしてください。

## 2 環境委員会より

### SDGsへの理解を広めよう

環境委員会では、SDGsの目標達成に向けて、自分たちに何ができるのかを考え、全校に広める活動をしています。

#### 【例年の活動内容】

- ① SDGsの17の目標を、まずは環境委員が理解する。
- ② 17の目標の中で、環境委員会として取り組むべき目標を絞り込む。
- ③ 絞り込んだ目標の達成に向け、自分たちにもできることを具体的に考える。
- ④ 全校児童に呼びかける方法を考える。

(昨年度は、劇やクイズ、ポスター作成に取り組みました。)

- ⑤ 担当を決め、準備をする。
- ⑥ 全校へ呼びかける。

上記の活動を通して、中原小の全校児童にSDGsへの理解を広めていきたいと思っています。

### 3 水泳指導担当より

6月12日（木）より水泳指導期間となります。

引き続き「安全な水泳指導の充実」を念頭に、水遊びや水泳運動の楽しさや喜びに触れさせ、発達段階に応じた基本的な技能を身に付けさせることを念頭に、指導を行っていきます。用具の準備や、水泳カードの記入など、保護者の皆様にはお願いすることがいくつかありますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

☆ゴーグルを使用する場合は、調整をして持たせてください。また、ゴーグルのゴムの調整や、ゴムが取れた際の付け直し等は、お子様がご自身でできるように、事前に練習をしておいてください。

☆体育着は、今まで通り月曜日に持たせてください。

☆ラッシュガードを使用する場合、安全上、金具やフードのないものをお使いください。